

マーサメリー代表取締役 安武真佐子さん

わたし

起業 しました

リズムタップダンスのライブ専門プロデュース会社として起業したマーサメリーの安武真佐子代表取締役。アーティスト、佐野元春さんのマネジャーを務めるなど、幅広い音楽業界での活動を生かし、将来有望なアーティストを発掘している。音楽ライブを開催するなど事業領域も広がってきた。

自らの身体を使って音楽をつくり出して踊るリズムタップダンスの魅力にはまり、その認知を広げようと、ライブのプロデュースをする会社を起業した。

長く音楽業界で培ってきた経験を生かし、また世に出ていない「原石の人に光を当てたい」との思いから、さまざまなライブ会場に足を運ぶ。通常バンドの後ろに配置されるパーカッションニスト(打楽器奏者)でキラリと光る女性にアプローチし、自らのプロデュースでは、パーカッションを前面に出してライブを開催したこともある。

マーサメリーという社名は、「名前の真佐子からマーサを、クリスチャンネームのマリアクララからメリーをとりました」。これは、「社名である『親切で、慈しみ深くありなさい』という思いを、社名にも込めています」と説明する。

幼稚園でオルガンに出合ったのをきっかけに、ピアノに夢中になった。

その一方で、通訳者でNHKの英語講座講師なども務めて人気を

ライブ専門にプロデュース

集めた鳥飼久美子さんに強い影響を受け、通訳を目指すように。ただ、高校の時に聴取者代表として出演したラジオ番組「百万人の英語」で、司会の講師に通訳になりたいと話すと、「自分の言葉を英語で表現する仕事についてどうか、と勧められ、強いインパクトがあった」と振り返る。

好きな音楽で留学

そのことがずっと心にあり、大学3年が終わるとき、「通訳としてというより、自分が好きな音楽で留学することを決めました」。編入でニューヨークの大学に学び、卒業後は、ニューヨークに来てレコーディングなどを行う日本のミュージシャンやレコード関係者のコーディネート、さらに通訳の仕事で実績を重ねた。途中、ロックに焦点を当てたニューヨークのガイドブックを執筆したこともある。

帰国後、間を空けずに、人気アーティスト、佐野元春さんのマネジャーを務めることになる。「女性で英語が話せて、文章を書ける人という条件でした」

佐野さんのデビュー当時からファンで、ミニコミ誌を自主発行するなど、夢中で応援してきたこともあり、マネジャーの話は夢のよ

やすたけ・まさこ ハイデルベルグ・カレッジ音楽学部ピアノ・パフォーマンス科卒。卒業後、音楽業界で仕事を開始。ニューヨーク(NY)を拠点に日本人ミュージシャンによるレコーディングの通訳やコーディネートなどを手がける。帰国後、佐野元春氏のマネジャーを務めた後フリー。04年3月マーサメリー設立。東京都出身。



うだった。

トップアーティストのマネジャーを務めたことで「妥協を許さず、とことん突き詰めてみえてくる境地があり、プロとはどういうものかを学ぶことができました」と話す。こうした経験を生かし、フリーとして活動をスタートした。

今では、著名人からのオフアームも多い写真家、松谷椿土さんのマネジメントも手がける。来年には、「家族」をテーマに、松谷さんが依頼客の家や近くの公園など

出張撮影に行き、写真集やポートレートを作成するサービスも計画中だ。

自分に通信簿を

これから起業を目指す人に対しては、「常日ごろから自分自身に通信簿をつけることが大切」と勧める。「日々の業務に押し流されずに、課題をどのように克服し、目標を達成させるか、そのためには自分はどうあるべきか、どうありたいか、人にはどのように接しているか、ということ念頭に、

それに対して現在の自分はどうか、ダメ出しをするつもりでつけてみては」とアドバイスする。

さらには、「数字面だけにとらわれずに、今の自分があるのは、多くの人に生かされていると思いを持った上で起業されるのが大事ではないでしょうか」とメッセージを伝える。

2年3カ月にわたり、女性起業家たちの生き方、奮闘ぶりを伝えてきたこの連載は、今回で終わります。

- マーサメリー
- ▷事業内容・タップ・ダンスライブの企画制作や、アーティストのプロデュース、音楽ライブの開催のほか、フォトグラファー・松谷椿土氏のマネジメントなど。
- ▷所在地・東京都世田谷区
- ▷設立・04年3月30日
- ▷ホームページ (http://www.masmary.com/)